

「東部ナンガルハル県における医療と住民主体の地域保健」(第1期)

完了報告書別紙(写真報告)

- 実施団体：特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター (JVC)
- 実施期間：2014年2月10日～2015年2月9日(12月間)
- 支援申請額：54,756,430円 総支出：45,031,451円
- 活動地：ナンガルハル県シェア郡ゴレーク地域(人口約21,000人)



【保健委員会メンバーに選ばれた青年ボランティア。マラリア対策キャンペーンに協力してくれた】



【村中の家庭を訪問しながら、マラリア感染を調べる簡易テストを施す】



【クズ・カシュコートの保健委員会の定例会】



【3つの村の保健委員会の合同研修】

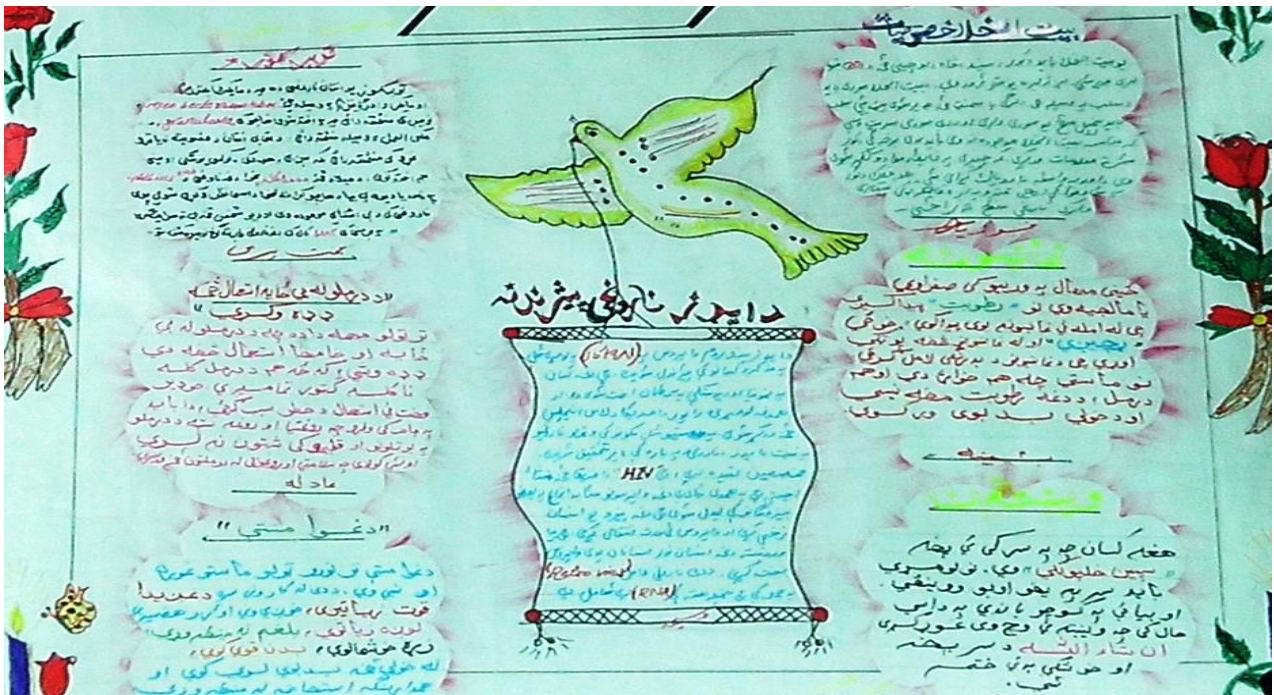


【共同資料室では保健委員会の管理のもと、村人に本の貸出を行う】

【右：2014 年度に立ち上がったフズ・バーグ村の保健委員会メンバー】



【FHAG メンバーがチェックシートを用いながら近所の家庭を訪問する。村の中を歩く女性。】



【美しく編集された壁新聞】



【壁新聞は一ヶ月間、掲示される】



【有志で保健の試験を受ける生徒】



【応急手当ワークショップ。今年度は外部講師ではなく JVC 職員が指導にあたった】



【患者の待ち時間を活用し、診療所・簡易診療所では毎日健康教育を実施する】



【地域保健員のスタディーツアーでカマ郡を視察、当地の CHW と交流】



【診療所補修】



【医薬品を診療所に運ぶ】

【診療所にて医薬品を整理】



【第三国にて、アフガン人職員と日本人職員による合同会議（2014年3月イスラマバード）】